

【介護予防教室の課題】

- ・送迎の問題（今は町で送迎）
- ・歩いて行ける場所での開催を検討
- ・新規の参加者を増やすこと
- ・教室終了後の自主化の問題
- ・教室でのアンケートの記入が苦手な方も多く実施が難しい場合がある

【課題改善策】

- ・対象者（参加者）のレベルにあった教室の運営
- ・アイスブレイクの工夫
- ・自主性を生かしたルールづくり

【実施した結果】

- ・町の特性や参加者に合わせた内容での実施
- ・教室後の自主化が実現できるような所ができた

【介護予防教室の写真】



【介護予防教室 参加者からの声】

- ・ここ（教室）に来る事が何よりの楽しみでみんなと体操していると元気になった気がする。
- ・思いっきり笑って元気になった。
- ・みんなと会えると元気になれる。
- ・物忘れの具合がいくらか違う。
- ・沈んだ気持ちが上がってきた。
- ・デイサービスへ行くのはまだ気が引けるのでこの教室を利用しできるだけ介護の世話にならないようにと思っている。

【スタッフからの声】

- ・次回の教室の確認や送迎時間の確認の電話を受けることがあるが、参加者からの参加意欲を大変感じられる。
- ・できるだけ休みたくないという熱意が伝わってくる。